

ヒト由来カテプシンS、組換え

Cat. No. NATE-1702

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

カテプシンS (CTSS) は、パパインファミリーのリソソームシステインプロテアーゼであり、MHCクラスII分子上で提示するために抗原性タンパク質をペプチドに分解することに関与している可能性があります。CTSSは、15アミノ酸のシグナルペプチド、99アミノ酸のプロペプチド、217アミノ酸の成熟ポリペプチドからなる331アミノ酸の不活性前体として合成されます。プロペプチドのプロテオリティック切断によってリソソーム内で活性化されます。推定されたアミノ酸配列には、プロペプチドに位置する1つの潜在的なN-グリコシル化部位のみが含まれています。豊富なカテプシンB、L、Hと比較して、カテプシンSは組織分布が制限されており、脾臓、心臓、肺に最も高いレベルで存在します。さらに、証拠はカテプシンSが内因性/リソソーム区画でアミロイド前体タンパク質 (APP) のアミロイド原性断片からアミロイドペプチドを生成し、アルツハイマー病およびダウン症の病因に関与していることを示しています。

別名

CTSS; カテプシンS; EC 3.4.22.27; FLJ50259; MGC3886

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	独自のバッファーから凍結乾燥されました。
EC番号	EC 3.4.22.27
CAS登録番号	71965-46-3
分子量	23.9 kDa (115-331 aa)
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>2000 mU/mg
単位定義	1 U = Ac-VVR-AFC基質 (K144-100) の1 μmole/minの消化。

保管・発送情報

保存方法	供給された状態で少なくとも1年間安定しています。バイアルを軽くスピンドウンし、50 mM 酢酸ナトリウム、100 mM NaCl (pH 5.5) で0.1-1 mg/mlに再構成し、-80°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルを避けてください。
------	---